
執筆者一覧

山本 博之 (やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門は東南アジア地域研究／メディア研究。研究テーマは、ナショナリズムと混血者・越境者、災害対応と社会、混成アジア映画。映画に関連した編著書に『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界——人とその作品、継承者たち』（シリーズ「混成アジア映画の海」1、英明企画編集、2019年）、*Film in Contemporary Southeast Asia: Cultural Interpretation and Social Intervention* (Routledge, 2012) がある。混成アジア映画研究会代表。

橋本 彩 (はしもと さやか)

学習院女子大学准教授。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期修了退学（博士、人間科学）。専門は、スポーツ人類学、文化人類学、ラオス地域研究。主著は『ラオス競漕祭の文化誌——伝統とスポーツ化をめぐって』（めこん、2020年）。共編著書に『スポーツ人類学の世界』（虹色社、2019年）。近年はラオス映画の研究にも関心を持って取り組んでいる。

岡田 知子 (おかだ ともこ)

東京外国語大学総合国際学研究院准教授。専門はカンボジア文学・文化。共編著書に『カンボジアを知るための62章』（明石書店、2012年）、『世界を食べよう！』（東京外国語大学出版会、2015年）、翻訳に『追憶のカンボジア』（同出版会、2014年）、『萎れた花・心の花輪』（大同生命国際文化基金、2015年）など。

平松 秀樹 (ひらまつ ひでき)

京都大学東南アジア地域研究研究所連携准教授。京都大学文学部卒、チューラーロンコン大学大学院比較文学科修士課程修了、博士（文学、大阪大学）。専門は、タイ文学・文化、日タイ比較文学・比較文化、タイ地域研究。タイ国仏教教理三級国家試験（ナックタム・トゥリー）合格。仏教およびジェンダーの観点からみた比較文学・文化研究に関心がある。共著に『東南アジアのポピュラーカルチャー』（福岡まどか・福岡正太編、スタイルノート、2018年）など。

西 芳実(にしよしみ)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。インドネシアを中心に多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程を研究。主著は『災害復興で内戦を乗り越える——2004年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』(京都大学学術出版会、2014年)。映画関連では「信仰と共生——バリ島爆弾テロ事件以降のインドネシアの自画像」(『地域研究』13(2)、2013年)や「ポスト・スハルト体制期のインドネシア映画における家族主義」(『インターカルチュラル』19、2021年予定)など。映画で東南アジア社会の課題共有をはかるシネアドボ・ワークショップにも取り組む。

篠崎 香織(しのざき かおり)

北九州市立大学外国語学部教授。専門はマレーシア地域研究。マラヤ地域(マレーシア半島部+シンガポール)の華人社会を中心に、マレーシア地域の政治・文化・歴史を研究。主著は『プラナカンの誕生——海峡植民地ペナンの華人と政治参加』(九州大学出版会、2017年)、映画関連では「継承と成功——東南アジア華人の『家』づくり」(『地域研究』13(2)、2013年)など。